

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	患者の安全安楽を目指した下部消化管検査前処置を見直す
研究責任者	聖隷浜松病院 通院治療看護課 池谷千香子
研究実施体制	聖隷浜松病院 通院治療看護課 鈴木知美、藤澤篤子、高柳由香、岡田晴加
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025年3月31日
対象者	2024年8月から2024年9月までに聖隷浜松病院内視鏡センターにて下部消化管内視鏡検査を受けた患者さん(緊急検査、前処置なし患者は除外)、335例。
研究の意義・目的	検査用下剤処方の統一化をし、2年経過しました。処方された緩下剤を患者さんがどのように内服しているか、また排便状況が異なる患者さんに看護師がどのように説明しているか現状を調査し改善すべき点はないか評価します。 下部消化管内視鏡の前処置における緩下剤内服説明などの統一化を図り、看護の質の向上につなげ安全安楽な検査を患者に提供することを目指します。
研究の方法	患者の服用した量・回数、洗腸剤の内服量と洗腸終了時間の情報から服用した緩下剤と排便状況の関係性を分析し評価します。 またインフォメーションに携わる看護師全員にアンケートを実施します。それらを分析・問題の抽出・対策を立て、今後の看護に活かします。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 通院治療看護 (氏名)鈴木知美 TEL:053-474-2222(代表) 内視鏡センター 9:00~17:00 平日